

# ちよつといし話

## ～ 法 縁 ～

今年も法縁を戴きまして、「本四国巡錫」の遍路を満喫出来ました。遍路を重ねてきますと「空海大師様と共に」巡拝させて戴くと言いながら、団体の多くは、勿体なくも本当にその心がけを以って遍路をしているか疑問です。「初心忘れるべからず」と申す通り、慣れ合いは人間を墮落させる要因の一つになろうかと思えます。ですから当山の同行は「常に初回である」をモットウに巡錫いたしております。足腰の丈夫な内に世相から少し離れ信仰一筋に歩いてみるのも必要な事であると思えます。

話は変わりますが善入院は大東亜戦争の戦火で諸堂全てが焼失してしまいました。焼け残った仏像も御本尊一光三尊善光寺如来様だけです。阿弥陀様は御存じの様に西方の御本尊様です。此の度、法縁を戴きまして東方の御本尊様であります、大日如来様の木像佛を造らさせて戴ける事になりました(この御縁は何回も本四国霊場を巡錫し、空海大師様の厚い御縁を戴き、在る札所の御本尊大日如来様の御分身を戴くものです)。寺にて大衆佛として安置される仏像が新たに造られる機会はめったに御座いません。此の千載一遇の法縁に皆様方が結縁して下さいますよう希望致します。心ある皆様方の尊い浄財の御寄付で後世に立派な仏像を残して行きたい

と祈念致しております。僧俗一致協力のもと勧募の程宜しくお願い致します。

過日、50余歳で突然の病死をされた方、震度6強の地震の発生に因る災害を鑑かんがみますと、まさに「ないと思うな、病、災難」です。秋葉原に於ける無差別殺人等、日本においても安心、安全は保障されない事を自覚しなくてははいけません。又10年に亘わたり、毎年3万人余の自殺者がでています。良心が闇に消され人間が機械化された証拠とも言えましょう。多忙から佛の教え慈悲心に接する機会も無く、家族の分散から仏壇もなく、手を合わせる必要も無く、したがいまして信仰も無くなり、ただ生活費の調達のために金に縛られているだけになり、金や金に起因する欲望、そんな生活の夢に破れ社会が悪いと思ひ込み、犯罪に走ってしまう人間が出来始めてきたにすぎないと思ひます。もっと目に見えない神仏に心を向け、先人ありて、現在の我々が居る事を自覚し。先祖をおろそかにして、今の幸せのみを願う愚かさに失敗が繰り返される事も知り。延々と築いてきた一族の大切さに気づかない限り眼を覆おおうような事件は続く事でしょう。オギャーと生まれた瞬間から人間は死に向かつて歩あるき始め、歩あゆみを止められた時、即ち命終です。此の事実は脳裏から離れ易く茫ぼうぼう々と時を過ぎしがちです。だから毎日の生き様が大切になります。皆様が法縁を結ばれ幸せな日々を過ごされる様に御祈念いたします。

千 千

善入院油掛地藏尊